

2023. 3. 27

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

●植物モニタリング活動 月間中の「春の野草観察会」に切り替え（下記参照）

●ニリンソウ観察 Day 4/9（日）10：00～15：00 大門自生地

期間中の土・日 10：00～12：00 大門自生地でのニリンソウガイド

期間中の毎月曜日 9：00～12：00 春の野草観察会 ため池公園スタート

★どの活動も、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

3/27 曇り空の下 ニリンソウ満開 になりました

3/25 から2日間降り続いた雨はニリンソウにとっては恵みの雨。雨がやんだ3/27はどんよりとした曇り空でしたが、満開になりました。花びらのように見えるのは萼片ですが、開き具合がちょうどよく、いい感じです。



昨年より1週間～10日早い満開

ニリンソウの満開期はこれまで4月の第1週から中旬でした。今年は、展葉から蕾を持つまでは例年よりやや遅いとさえ感じていましたが、開花してからはかなりのスピードで進みました。ソメイヨシノが記録的な早期満開だったのと同じように、3月中に満開になったのは異例の早さと言えます。

大門自生地のメインステージを正面から見ると、幅の広い楕円形の三枚葉の植物が伸びてきているのが見られますが、これはヤマブキソウ↑

ニリンソウと並んで東京都の準絶滅危惧種に指定されている植物です。ニリンソウは満開から2週間は見ごろが続きます。4/9のニリンソウ観察Dayにはヤマブキソウとの揃い咲きが見られるかもしれません。



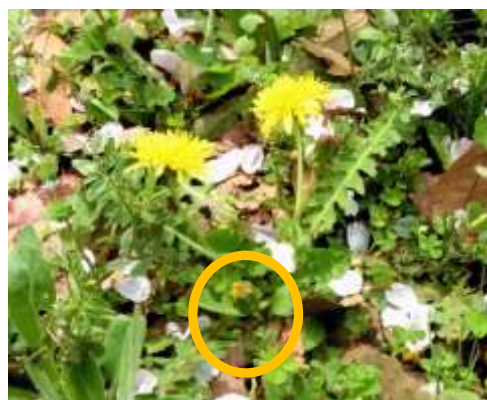
増えているニリンソウ

大門地域では生物多様性保全のために自生地の擬木柵を3～5メートル下げましたが、その分だけニリンソウが手前に進出してくるようになりました。反対側のロープ柵内にもニリンソウの小さな株がかなりの数で展開しています。他の野草の展開も観られます。数年～10年後には大門地区全体が野草の宝庫になるかもしれません。

城址地区では板橋区立郷土資料館裏の北側斜面や西側のジロボウエンゴサクの林のふもとでニリンソウの群落がつながるようになってきました。



城址の梅林下はカントウタンポポ・シロバナタンポポ花盛り



タンポポはキク科の仲間。そのキク科の花の多くは舌状花（ぜつじょうか）という1片の花弁に雄蕊と雌蕊を付けた花がたくさん集合したものです。その花をまとめて支えている総苞（そうほう）がしっかりしているのがカントウタンポポ（左の写真○内）。右の白いタンポポはその名の通りシロバナタンポポ。



踏み付けに弱いので注意しながら歩いてください。

地面から眼をはなして上を見ると、樹木の花もあちこちに

左からニワトコ

ヤマモモ

クヌギ

ウワミズザクラ

